

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の取組事例（長久手市（ながくてし））

◆コンセプト：

幸せが実感できる共生のまち

これから訪れる様々な課題には、行政だけでは太刀打ちできず、市民一人ひとりが地域に役割と居場所を持ち、関わり合い、お互いに助け合い支え合える「地域で共生するまち」にしていくことが重要となります。そのため、人と人、人と地域、人と自然、様々なものがつながり、「共生」幸せが実感できるまちを目指します。

<特徴>

「市民主体のまちづくり」の実現に向け、

- ①市民が「知り合う」きっかけをつくる
 - ②概ね小学校区単位での「顔の見えるまちづくり」の推進
 - ③市民に役割を担ってもらう
- 以上3つの点を念頭においてまちづくりを進めます。



◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【地域の担い手づくりの推進】

高齢者の生活の手助け等の活動に取り組み、地域の担い手として活躍できるための環境づくりに取り組みます。

【今後の展開】

介護予防の取組や簡単な支援を地域で提供できる体制づくりを行います。（生活支援サポーターの養成）

「活躍・しごと」

【地域における活動の場の整備と活用】

地域コミュニティを活性化させるため、地域の活動拠点となる地域共生ステーションを整備します。

【今後の展開】

概ね小学校区単位の地域に、自治会をはじめ、子ども会やシニアクラブ、企業、NPO、各種活動団体等が、地域のために様々な取組を行う拠点となる施設を整備します。

「健康」

【市民の健康づくり】

健康寿命の延伸を目的に、疾病の発生防や早期発見、重症化予防、心の健康づくりを推進するとともに、生涯を通じた健康づくりに取り組みます。

【今後の展開】

生活習慣の改善につながる運動、各種検診の受診、健康講座、イベント、スポーツ教室等の「健康づくりメニュー」を取り組んだ人にマイレージ（ポイント）を付与します。

「住まい」

【良好な住環境の形成】

歩いて外出する市民を増やすため、道路に緑を増やし、木陰等で休憩しながら楽しく歩くことができる環境づくりに取り組みます。

【今後の展開】

アダプト制度を活用し、街路樹の清掃、除草、水やり及び損傷等の情報提供について、市民の力を借り、適正な管理を行います。

コミュニティへの人の流れ

リリモテラスにぎわい創出事業

リリモ長久手古戦場駅北側のリリモテラスにおいて、市民の新たなつながりをつくるために、市民が主体となってにぎわいを創出する事業を行います。

その他特徴的な取組

市民主体の計画づくり

市民一人ひとりに役割と居場所があることで、生きがいづくり、幸せが実感できるまちづくりの取組の一つとして、みなさんと一緒に各種計画を作り上げていくことを進めています。

- 人口：61,318人（R6.4月時点）
- 第2期長久手市まち・ひと・しごと総合戦略策定（R1.3月）
（基本目標1 役割・しごとづくり「誰もが活躍できる役割・しごとをつくる」を明記）
- 地方創生拠点整備交付金（H29.2月地域再生計画認定）を活用
（多世代交流サロン整備による「役割」と「居場所」のあるまちづくり）